

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成29年3月7日

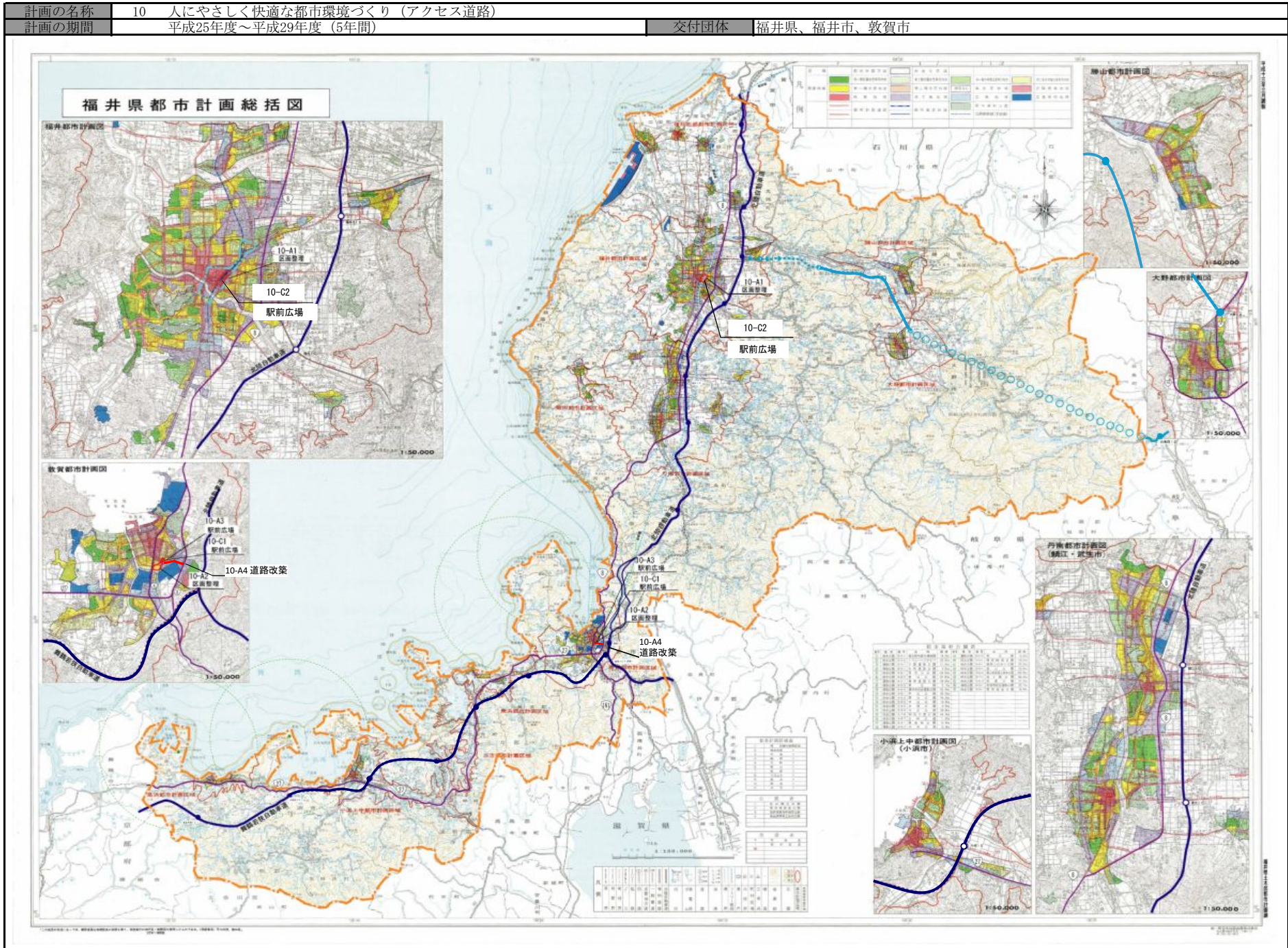
計画の名称	10 人にやさしく快適な都市環境づくり (アクセス道路)										重点配分対象の該当	○																
計画の期間	平成25年度～平成29年度 (5年間)					交付対象	福井県、福井市、敦賀市																					
計画の目標	主要駅や主要ICと中心市街地間のアクセスを強化する道路整備を行い、安全で、人が集い、にぎわいのある都市づくりを推進する。																											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要駅や主要ICへの車等による移動時間を短縮させる。</li> <li>・交通結節点における他交通へのアクセス時間を短縮させる。</li> </ul>																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値 (H28末)</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備区間を含む主要交差点間での1台当りの移動時間を、整備前と整備後で比較する。 (1台当りの移動時間の短縮) = Σ (整備前の移動時間 - 整備後の移動時間)</td> <td>1.8分</td> <td>1.8分</td> <td>1.3分</td> </tr> <tr> <td>歩行者等による交通機関相互のアクセス時間を、整備前と整備後で比較する。 (1人当りのアクセス時間の短縮) = Σ (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間)</td> <td>1.6分</td> <td>0.9分</td> <td>0.0分</td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	整備区間を含む主要交差点間での1台当りの移動時間を、整備前と整備後で比較する。 (1台当りの移動時間の短縮) = Σ (整備前の移動時間 - 整備後の移動時間)	1.8分	1.8分	1.3分	歩行者等による交通機関相互のアクセス時間を、整備前と整備後で比較する。 (1人当りのアクセス時間の短縮) = Σ (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間)	1.6分	0.9分	0.0分
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)																									
	整備区間を含む主要交差点間での1台当りの移動時間を、整備前と整備後で比較する。 (1台当りの移動時間の短縮) = Σ (整備前の移動時間 - 整備後の移動時間)	1.8分	1.8分		1.3分																							
歩行者等による交通機関相互のアクセス時間を、整備前と整備後で比較する。 (1人当りのアクセス時間の短縮) = Σ (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間)	1.6分	0.9分	0.0分																									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,529百万円	A	3,745百万円	B	0百万円	C	784百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	17.3%																
<b>交付対象事業</b>																												
<b>A 基幹事業</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考											
									H25	H26	H27	H28	H29															
10-A1	街路	一般	福井市	直接	福井市	福井駅周辺土地区画整理事業	区画整理 A=16.6ha	福井市						3,311														
10-A2	街路	一般	敦賀市	直接	敦賀市	敦賀駅西土地区画整理事業	区画整理 A=4.7ha	敦賀市						128														
10-A3	街路	一般	敦賀市	直接	敦賀市	敦賀駅港線 (駅前広場)	駅前広場 A=0.09ha	敦賀市						82														
10-A4	街路	一般	福井県	直接	福井県	敦賀駅東線	道路改築 L=0.7km	敦賀市						224	1.11													
合計													3,745															
<b>B 関連社会資本整備事業 (該当なし)</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考											
									H25	H26	H27	H28	H29															
合計													0															
<b>C 効果促進事業</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
									H25	H26	H27	H28	H29															
10-C1	施設整備	一般	敦賀市	直接	敦賀市	敦賀駅港線 (駅前広場) 整備事業	駅前広場 A=0.42ha	敦賀市						454														
10-C2	施設整備	一般	福井市	直接	福井市	福井駅周辺土地区画整理事業	上屋設置 A=620㎡	福井市						330														
合計													784															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																
10-C1	敦賀駅港線整備(A3)と一体的に駅前広場(道路外)の整備を行うことで、敦賀市中心部のにぎわいを創出する。																											
10-C2	駅前整備(A1)と一体的に駅と周辺商業施設への歩行者空間を改善することで、福井市中心部のにぎわいを創出する。																											
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
									H25	H26	H27	H28	H29															
合計													0															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	418	464	534	384	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	418	464	534	384	
前年度からの繰越額 (d)	0	346	349	106	
支払済額 (e)	72	461	776	215	
翌年度繰越額 (f)	346	349	106	275	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成25年度以降の各年度の決算額を記載。



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:10人にやさしく快適な都市環境づくり(アクセス道路)

事業主体名:福井県、福井市、敦賀市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題との適合性	
1)地域の課題と整備計画の目標が適合している。	○
2)整備計画による活動により目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)ハードとソフトの連携等を図り事業の効率性が確保されている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
⑥地元の機運	
1)整備計画活動に対する地元の機運がある。	○